

2025年5月8日

当院通院中の患者様へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 大腿骨近位部骨折患者における年齢による筋量の特徴および骨密度の関連性
-AI (Bayesian U-net) を利用した3次元解析-

[研究機関名・長の氏名] 小樽市立病院 病院長 越前谷 勇人

[研究責任者] 小樽市立病院 医療技術部 リハビリテーション科 遠藤 智康

[研究の目的]

新たに開発された人工知能（AI）による骨格筋および骨密度の解析ツールを使用し、CT画像から大腿骨近位部骨折患者の年齢による受傷時下肢筋量および骨密度の関連性の調査することを目的とする。

[研究の方法]

●対象となる患者様

当院にて大腿骨近位部骨折治療のため、CT検査および骨密度検査（DEXA）を施行した患者様

●利用するカルテ情報

年齢、BMI、術前歩行状態、骨折歴、転倒場所（屋内か屋外か）、非受傷側の各筋量（内転筋、大腿二頭筋、大殿筋、中殿筋、小殿筋、薄筋、腸骨筋、外閉鎖筋、内閉鎖筋、恥骨筋、梨状筋、大腰筋、大腿直筋、縫工筋、半膜様筋、半腱様筋、大腿筋膜張筋、外側広筋および中間広筋、内側広筋）、骨密度

[研究実施期間] 実施許可日～2027年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者様の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者様の情報に関しては、お名前、住所など、患者様個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者様を特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

小樽市立病院 医療技術部 リハビリテーション科 遠藤 智康

住所：北海道小樽市若松1丁目1番1号

電話：0134-25-1211